

野外における参加型音楽会「雑木林オーケストラ2020」開催(中止)

雑木林オーケストラ

活動の目的

芸術作品やアート活動に触れる機会の少ない地域において、老若男女、身体の障がいや何らかの不自由さ、地域性をはじめとする差を越えた、様々な参加者による野外音楽会の開催を目指す。アートの中でも馴染み深い音楽、リズム。2020年は牛窓のオリーブ畑、岡山の瀬戸内海を舞台とした。ふるさとの風景、自然をいつまでも愛しむ心の模様と、能動的にアート（音楽とリズム）に関わることから得られる大きな喜びと楽しさ、日常のなかにもアートはあるという実感を結びつけていきたい。音楽会では音楽に耳を傾げるだけでも、手をたたきだけ足を踏むだけでも良い。この日の音楽体験と思い出が、それぞれの心のなかでいつの日か「アートになること」を望んでいる。

活動の内容及び経過

2020年11月21日、牛窓オリーブ園にて「雑木林オーケストラ2020」を開催する予定だった。4人の音楽家、ほのぼのブラザーズの皆さんとともに、体を使ったリズムで音楽を楽しむ企画（その他音ワークショップ等も）をすすめていた。そんな矢先、岡山県下や近県において、新型コロナウイルス感染症が急激に拡大し始める。行動が制限される中、密を避けられるだろう野外での音楽ということで、多くの方々に興味を持ってもらえるものの、喜びの反面、開催への不安も大きくなる。もし大勢の人がオリーブ園に集まれば混乱が生じる可能性があること。また当時、医療従事者を差別したり、感染者を詮索するような時世にあり、感染症拡大に怯えながら、音楽会は開催できないと判断し、本番1週間前に中止を決定した。

活動の成果・効果

「雑木林オーケストラ2020」は開催できなかったため、実質的な成果は存在しない。中止を決断したことについては、当時それ以外の答えを見つけることができなかった。事態に合わせて参加希望者を絞り込む必要性や、このような状況下での判断には、メンバーにも様々な意見があったと思うが、参加の意思を示してくださっていた方も含め、代表である私の苦渋の選択を「必ず次につなげよう。」という希望に変えてくれたことをとても感謝している。ただ、あの時、もし「雑木林オーケストラ2020」を開催していれば、コロナ禍であるからこの開催の意義に気づくことができたのかもしれないし、みんなで1つのことを成し遂げる重要性や喜びを成果として残せていたのかもしれない、と現在も考えている。

今後の課題と問題点

新型コロナウイルス感染症の問題があったにもかかわらず、「参加型」、「野外」、そして「ボーダーレス」な音楽会というスタイルにこだわり過ぎてしまい、雑木林オーケストラの特徴を「弱点」にしてしまう結果となった。今回の問題点は、あらかじめ「感染症が拡大した時のための具体的な策」と明確に示していなかったことにある。いざという時の基準がないことで開催者が困惑してしまい、最終的に中止を選択せざるを得なくなった。どのような場合においても、参加希望者や音楽会に関わる全員の環境を考慮することは不可能である。そのことを十分に理解していなかったがゆえに、臨機応変な対応できないばかりか、「どなたでも参加してください！」というメッセージを覆すことができなかった。

- 代表者：谷尾暁子 ●所在地：津山市山北
- TEL：090-7771-3887 ●E-MAIL：alabo0505@gmail.com
- URL：https://www.facebook.com/zoukibayashi.ochestra/
- 設立年：2019年 ●メンバー数：12名